

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	長山港(渡口地区)港湾改修事業	事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県		
事業箇所	宮古島市伊良部字伊良部地先						
事業の諸元	船揚場 L=50m、臨港道路 L=50m						
事業の概要	<p>長山港渡口地区は、伊良部島と下地島の水路に位置し、静穏性が高いことから漁船、遊漁船、ダイビング業遊漁船など多くの地元小型船が利用している。</p> <p>今回、小型船の係留施設の不足を解消するため、船揚場および臨港道路の整備を行う。</p>						
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 長山港渡口地区においては、近年ダイビング客の増加に伴い利用する小型船も増加しており、一部のダイビング業遊漁船は近隣の漁港の利用を余儀なくされるなど、利用者に不便を強いている状況であることから、船揚場および臨港道路の整備が必要である。</p> <p>《効果》 船揚場および臨港道路の整備を行い、港湾施設の利便性向上を図ることで、ダイビング業遊漁船など船舶の利用促進、マリンレジャーの魅力の向上など地元の観光振興や地域振興に寄与することができる。</p>						
事業期間	事業採択	平成28年度	完了(予定)	平成30年度			
全体事業費	1.5	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率 9/10		
費用対効果	B/C	総便益: B	2.9	(億円)	総費用: C	1.32 (億円)	基準年
	=	台風避難準備の休業損失回避等便益: 2.90億円		総事業費: 1.25億円 維持管理費: 0.07億円		平成26年度	
事業着手の熟度・上位計画との整合性	ダイビング業などマリンレジャーの観点から観光振興に寄与できることから、沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策3-(2)-ウ観光客の受入体制の整備」に該当する。						
環境への配慮	港内における埋立等に伴う赤土等の流出防止対策等を十分に行い、実施にあたっては環境に与える影響が軽微となるよう努める。						
関係する地方公共団体等の意見	地元、宮古島市から要望がある。						
概要図(位置図)							